

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期弥富市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

愛知県弥富市

3 地域再生計画の区域

愛知県弥富市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、全国的な少子高齢化と人口減少の中で、1980年以降増加してきたが、1990年から1995年にかけて2,338人の増加を記録して以降は増加幅が小さくなり、国勢調査によると2010年の43,272人をピークとして、減少局面に入り、2020年には43,025人となっている。弥富市人口ビジョンでは、2060年には37,674人まで減少すると推計している。

年齢3区分別人口をみると、年少人口（15歳未満）は減少傾向にあり、2020年には5,298人となっている。生産年齢人口（15～64歳）は1995年までは増加し続け、29,662人となったのち、減少に転じ、2020年には26,347人となっている。老年人口（65歳以上）は、ペースを速めながら増加し続け、2005年には年少人口を上回り、2020年には11,380人に達した。

自然増減については、出生数が死亡数を上回る自然増で推移してきたが、その度合いが徐々に減り、2014年に初めて29人の自然減となった。2015年はかろうじて自然増ではあったが、少子化、高齢化が出生数の減少、死亡数の増加という形で表れ、2016年以降は自然減の状態が続いている。2023年では、出生数282人、死亡数523人で241人の自然減となっている。なお、合計特殊出生率は、2003年から2007年の1.39から上昇し、2008年から2012年には1.56となったが、2013年から2017年で1.50へ下降し、全国よりは高いものの、愛知県全体と比較すると低い水準となった。

社会増減については、2000 年代前半までは転出数が転入数を上回る社会減で推移してきたが、2000 年代後半以降は、社会増と社会減を繰り返している。1995 年から 2015 年までを分析すると、男女ともに 20 代の転入、30 代の転出が高い傾向にあり、就職をきっかけに転入する人が多く、結婚・出産をきっかけに定住場所を決定する人の転出が多い傾向にあると見受けられる。2023 年は、男女ともに転入超過となっており、転入数が 2,257 人、転出数が 2,126 人で、131 人の社会増であった。

このように、本市は社会増ではあるものの自然減が続いており、人口減少は労働力人口の減少や消費市場の縮小につながり、経済規模を縮小させる。それが社会生活サービスの低下を招き、さらなる人口流出を引き起こす。また、急速な少子高齢化が年金、医療、介護等の社会保障に係る将来の財政負担を増大させ、家計や企業の経済活動に大きな影響を与えるとともに、地域産業の担い手不足が懸念される。

これらの課題に対応するため、次の事項を本計画における重点戦略として掲げ、新たな定住者を増やす取組を推進しつつ、現在住んでいる市民の暮らしやすさを高め、“ひと”と“ひと”とが繋がることで安心感や賑わいを醸成するような施策を展開することで、人口減少の克服と誰もが便利で快適に暮らせる社会の実現を目指す。

- ・重点戦略 1 弥富市に仕事をつくる
- ・重点戦略 2 弥富市への人の流れをつくる
- ・重点戦略 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・重点戦略 4 魅力的な弥富市をつくる
- ・重点戦略 5 DXで暮らしを豊かにする

【数値目標】

5－2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	全産業における事業所数	2,078事業所	2,082事業所	重点戦略1
イ	人口社会増減数	131人	15人	重点戦略2
ウ	出生数	282人	342人	重点戦略3
エ	市への愛着度	70.6%	75.0%	重点戦略4
オ	行政手続の電子申請件数	285件	290件	重点戦略5

5 地域再生を図るために行う事業

5－1 全体の概要

5－2のとおり。

5－2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期弥富市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 弥富市に仕事をつくる事業

イ 弥富市への人の流れをつくる事業

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ 魅力的な弥富市をつくる事業

オ DXで暮らしを豊かにする事業

② 事業の内容

ア 弥富市に仕事をつくる事業

駅周辺の賑わい創出、新産業エリアへの新規企業立地の推進、新たな産業の育成など産業振興のほか、安定した雇用の創出や多様な人材の確保・育成、ワーク・ライフ・バランスの推進など働きやすい環境を整備する事業

【具体的な事業】

- ・ 6次産業化活動促進事業
- ・ 中小企業事業資金融資事業
- ・ 職場体験学習事業 等

イ 弥富市への人の流れをつくる事業

駅周辺エリアの商業機能向上による魅力の創出、市内外への情報発信の強化、市内各施設を活用した魅力拡大による関係人口の創出・拡大を図る事業

【具体的な事業】

- ・ 市ホームページ事業
- ・ 車新田地区土地区画整理事業
- ・ 市内イベント開催事業 等

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

安心して結婚し、子どもを産み育てられる環境の整備、子育て支援の充実、教育環境の充実と多様な学びの場の提供など、若い世代や子育て世代を支援する事業

【具体的な事業】

- ・ 結婚活動支援事業
- ・ 養育支援訪問事業
- ・ SC（スクールカウンセラー）配置事業 等

エ 魅力的な弥富市をつくる事業

災害に備えた対策の推進、誰もが生きがいを感じながら暮らせる環境づくり、地域公共交通と連携したコンパクトなまちづくりに資する事業

【具体的な事業】

- ・ 緊急時避難場所確保事業
- ・ 協働のまちづくり推進事業
- ・ コミュニティバス運行事業 等

オ DXで暮らしを豊かにする事業

行政手続のオンライン化による市民の利便性向上やデジタル化の恩恵を受けづらい高齢者等支援のほか、デジタル化による行政運営の効率化を図

る事業

【具体的な事業】

- ・コンビニ交付事業
- ・市民なんでも相談窓口事業 等

※ なお、詳細は弥富市デジタル田園都市構想総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4 の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1, 100, 000 千円（2024 年度）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

毎年度 8 月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本市公式 W E B サイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで